INFO-HIRO-21

第 482号 2019年 10月 1日 弘 前 大 学 総 務 部 総 務 広 報 課

イベントのお知らせ

テネシー大学マーチン校 留学説明会のお知らせ

このたび、本学の協定校であるテネシー大学マーチン校(米国)から エイミー・フェニング国際交流部長をお招きして、留学説明会を行います。

アメリカでの暮らしのこと、テネシー州のこと、マーチン市のこと、米国大学での留学生活についてなど、気になることを直接質問してみませんか。マーチン校への2020年春休み短期留学、長期留学についてももちろん紹介します。学生のみなさんの参加をお待ちしています。

記

【日時】 令和元年10月2日(水) 12:00~12:30

【場所】 イングリッシュ・ラウンジ (総合教育棟2階)

【講師】 エイミー・フェニング 国際交流部長

【内容】 テネシー大学マーチン校の紹介

【対象】 学生・教職員, どなたでも参加できます。

【申込】 事前申し込みは不要です。

※入退場自由です。 ※説明会は英語で行われますが,簡単な日本語の解説がつきます。

【間い合わせ先】

弘前大学国際連携本部

TEL: 0172-39-3114 E-mail: jm3114@hirosaki-u.ac.jp



第16回弘大食料研 出張サイエンスカフェ「冷凍イチゴと凍結受精卵~冷凍技術のヒミツ」

- ◇日時 10月5日 (十) 10:30~12:00
- ◇場所 集会所indriva (弘前市紙漉町4-6)
- ◇参加費 無料(飲み物は別途ご注文ください)
- ◇内容

「弘大食料研サイエンスカフェ」は、弘前大学地域戦略研究所食料科学研究部門に所属する教員や関連の研究者が話題を提供しつつ、皆さんと食品研究など身近な科学について語り合う場です。研究者と参加者が同じテーブルでコーヒーを片手に、気軽にトークを楽しみながら科学に親しんでいただくのが目的です。第16回は、恒例になってきました秋の弘前出張開催です。話題提供者に弘前大学農学生命科学部の君塚道史(きみづか のりひと)先生をお招きして、食品の保存に重要な冷凍技術についてご紹介いただきます。

生の野菜や果物を冷凍すると、食感はグチャグチャになってしまいますが、魚や肉は美味しく保存することができます。一方、医療の現場では受精卵がごく普通に液体窒素中で凍結保存され、解凍後



も生存しています。受精卵の技術を使えば生と遜色のない冷凍苺ができるのでしょうか…。今回のサイエンスカフェでは、身近な技術でありながら、実はあまり知られていない冷凍保存の科学についてご紹介したいと思います。

- ◇申込方法(以下のどちらかで)
 - (1) Facebookイベントページで「参加する」を押す(できればコメントも残していただけると助かります)
 - (2) fs. cafe@hirosaki-u. ac. jpへ「10月5日サイエンスカフェ申込」としてメール
- ◇募集人数 15名(申込先着順)

イベントページのURL

https://www.facebook.com/events/2435205373253416/

サイエンスカフェの常設ページURL

https://www.facebook.com/弘大食料研サイエンスカフェ-1578641892388027/

令和元年度「原子力規制人材育成事業」先端放射線科学講演会 開催のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科では、令和元年度原子力規制人材育成事業「原子力災害における放射線被ばく事故対応に向けた総合的人材育成プログラム」の一環として、先端放射線科学講演会を下記のとおり開催します。

今年度は世界保健機関(WHO)の一機関であるフランスの国際がん研究機関International Agency for Research on Cancer、IARC)から十川佳代先生をお招きし、将来起こりうる原子力事故後の甲状腺健康モニタリングの長期戦略についての提言についてお話しいただいた後、ご自身の現在に至るまでのキャリアパス、及びキャリア開発のために重要だと感じられた点についてもご講演いただきますので、これから世界を舞台に活躍したいと考えている若い研究者や学生の皆さんにとっても貴重な内容になっています。

事前申込は不要ですので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。



【演 題】「原子力事故後の甲状腺健康モニタリングの長期戦略: IARC専門家グループによる 提言」

"Long-term strategies for thyroid health monitoring after nuclear accidents: recommendations from an Expert Group convened by IARC"

「私のキャリアパスとキャリア開発の視点」

"My career path and perspectives on career development"

【講 師】十川 佳代先生

国際がん研究機関 (International Agency for Research on Cancer, IARC)

【日 時】10月10日(木)17:40~19:00

【場 所】保健学研究科F棟1階 大学院講義室1 (弘前市本町66-1)

【対 象】学生,大学院生,教職員 (無料,事前申込不要)

【お問い合わせ】保健学研究科 総務グループ

TEL: 0172-39-5518 (内線6901)

令和元年度 弘前大学総合文化祭「知の創造」市民公開講座

『青森県産食材から健康を!カシスとそばもやしの機能性』開催のお知らせ

保健学研究科では弘前大学総合文化祭「知の創造」の催し物として『青森県産食材から健康を!カシスとそばもやしの機能性』をテーマに市民公開講座を開催いたします。

事前の申し込みは不要ですので、参加を希望される方は、当日直接会場 にお越しください。

多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時: 2019年10月27日(日) 10時00分~11時30分

2. 会 場: 弘前大学創立50周年記念会館 2F 岩木ホール

3. テーマ: 『青森県産食材から健康を!カシスとそばもやしの機能性』

4. 内容: 講演1「カシスが秘める植物性女性ホルモン効果」

七島 直樹 先生(弘前大学大学院保健学研究科准教授)

講演2 「カシスの摂取は更年期症状を軽減する!?」

堀江 香代 先生(弘前大学大学院保健学研究科助教)

講演3 「津軽の伝統野菜そばもやしとそばもやし由来細菌の機能性」

山内 可南子 先生(弘前大学大学院保健学研究科助教)

5. 入場料: 無料

6. 対 象: 一般市民・学生



7. 問合せ: 弘前大学大学院保健学研究科総務グループ (電話0172-39-5905)

※本事業は「国立大学フェスタ2019」 (http://www.janu.jp/univ/festa/) に参加しています。

令和元年度弘前大学総合文化祭

「農学生命科学部市民公開講座:無肥料無農薬栽培(自然栽培)と農業の未来」開催のお知らせ

1. 日時:令和元年10月27日(日)13:30~15:00

2. 場所: 弘前大学農学生命科学部4階 433講義室

3. 対象:一般,教職員,学生の方等どなたでも歓迎いたします。 ※参加無料,事前申込み不要です。

4. 受付: 当日(433講義室前で行います。)

5. 演題 「無肥料無農薬栽培(自然栽培)と農業の未来」

講師 農学生命科学部 生物学科 教授 杉山 修一氏

内容 無肥料でなぜ作物を育てる事ができるか? 無農薬でなぜ病気や害虫を抑えられるか? について最近の研究を紹介します。



開催日時: 令和元年 10 月 27 日(日) 13:30~15:00 場所: 農学生命科学部 4 階 433 講義室



問い合わせ先

弘前大学農学生命科学部地域連携推進室(事務:研究協力担当)

TEL: 0172 - 39 - 3758

E-mail: jm3756@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院人文社会科学研究科 修士論文中間報告会(FD公開発表会)開催のお知らせ

日 時

令和元年10月30日(水) 14:30~18:30

• 会 場

人文社会科学部棟4階 多目的ホール

• 内 容

人文社会科学研究科(修士課程)の大学院生の研究発表

- -発表者と発表題目-
- ・清藤 博(指導教員 成田 史子) 「労働時間法制の課題-長時間労働を中心に-」
- ・奈良 尚子(指導教員 成田 史子) 「就業規則の不利益変更に関する法的検討」
- ・濵田 玲英子(指導教員 亀谷 学) 「現代イランにおける初等教育の中の宗教-小学校教科書を題材に-」



- ・原田 大生(指導教員 泉谷 安規) 「初期サルトルのモラル論について - 『存在と無』から『文学とは何か』にかけて-」
- ・王 鈺 (指導教員 山本 秀樹) 「日本語のアクセントと中国語の声調における音楽性の分析」
- ・張 瑩(指導教員 山本 秀樹) 「数量表現構文のしくみ」
- ・木戸 奈央子(指導教員 関根 達人) 「北前船が運んだ酒-松前徳利と越後徳利-」
- ・張 瑞陽(指導教員 片岡 太郎) 「青銅器の修復と保護に関する研究ー中国と日本における青銅器の保全と保存技術の比較研究ー」
- ・全 斯瑀(指導教員 森 樹男) 「地方大学発ベンチャー企業におけるオープンイノベーションの取り組みに関する考察」
- ・任 星宇(指導教員 森 樹男) 「中国における日系企業の人的資源管理について -早期離職問題を中心に- 」

当研究科の大学院生の研究活動や研究内容にご関心をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。 ※入場無料、事前の申込は不要です。

・問い合わせ先

弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当

 $\mathtt{TEL}: 0172 - 39 - 3941$

E-mail: jm3941@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院人文社会科学研究科 大学院・入試説明会のお知らせ

(令和2年度春季入学:一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜)

日 時

令和元年11月8日(金) 18:00~19:10

会場

人文社会科学部校舎4階 多目的ホール

• 内 容

入試の説明のほか,研究科の概要説明,個別相談等を行います。 ~プログラム~

- 1. 新しい人文社会科学研究科について
- 2. 入学試験(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜)について
- 3. 大学院生の声
- 4. 教員からのメッセージ
- 5. 院生室見学
- 6. 個別相談



• 対象者

人文社会科学研究科に興味のある方ならどなたでも参加可能です。 大学院を検討しているすべての学年の方,どうぞご参加ください。 ※事前の申込は不要です。

・問い合わせ先

弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当

TEL: 0172-39-3941

E-mail: jm3941@hirosaki-u.ac.jp

海外の大学院への進学説明会のお知らせ(再掲)

文部科学省の委託事業「日本人の海外留学促進事業」の 一環として,海外の大学院への進学説明会を実施します。 海外大学院への進学に役立つ情報を得ることができますので, 是非ご参加ください。

訴

日時:令和元年 10 月 2 日(水) 15 時~16 時 30 分

場所:総合教育棟1階 101講義室(文京町キャンパス)

参加対象:学生,教職員等

説明者:一般社団法人海外留学協議会(JAOS)

問い合わせ先:国際連携本部サポートオフィス jm3114@hirosaki-u.ac.jp

0172 - 39 - 3114

保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会主催 第4回放射線看護セミナー

「放射線診療における看護に必要な基礎知識」開催のお知らせ(再掲)

放射線を用いる検査および治療は高度化・専門分化し、放射線診療の適応範囲は年々拡大しています。看護師は臨床の様々な場で放射線診療を受ける患者の看護に携わっていますが、看護基礎教育や卒業後の継続教育においても、放射線に関する学習の機会は多くありません。本研究科博士前期課程では、平成27年4月より「放射線看護高度看護実践コース」を本学大学院に開設し、教育を開始しました。放射線や放射線防護に関する専門的知識を基盤とし、画像診断や核医学診療、IVR診療、放射線治療、さらには被ばく医療に関して高度な看護実践ができる人材育成を目指しております。また、放射線看護に関する様々な教育支援も行っております。

このような取組みの中、平成28年度から「放射線看護セミナー」を開催してきました。第4回となる今回のセミナーは、放射線看護に携わる看護師のために放射線の基礎を分かりやすく解説するとともに、放射線診療における看護師の役割について最新の知見をまじえて理解を深めることを目

的としています。放射線看護高度看護実践コースの教育内容についても紹介します。なお、今年度からINE更新単位取得(5単位)の対象として認定されています。

1. 日 時: 令和元年10月12日(土) 13時30分~16時10分(質疑応答を含む)





2. 場 所: 東京工業大学キャンパスイノベーションセンター (CIC東京) 1階 国際会議室

(東京都港区芝浦3-3-6)

3. テーマ: 「放射線診療における看護に必要な基礎知識」

4. 対 象: 放射線看護に興味・関心のある医療職者(先着80名程度)

※申込先着順で定員に達し次第、申し込み受付終了とさせていただきます。

5. プログラム:

13:30~13:35 開会の挨拶

13:35~14:35 教育講演1 ● 放射線看護のための「放射線・放射線防護の基礎」

弘前大学大学院保健学研究科 小山内 暢

14:35~14:45 休憩

14:45~15:45 教育講演2 ● 放射線被ばくについて考える:最新の知見をまじえて

埼玉医科大学国際医療センター 田中 淳司 先生

15:45~16:00 放射線看護高度看護実践コースの教育について

弘前大学大学院保健学研究科 井瀧 千恵子

16:00~16:10 閉会の挨拶

6. 参加費: 無料

7. 申し込み方法: Eメールによる事前申し込みとなります。

●下記URLから申し込み手続きを行ってください。

・被ばく医療人材育成推進プロジェクトHP http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/

・お申し込み先メールアドレス: hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

8. 申し込み締切: 令和元年9月23日(月・祝日)

申し込み受付が完了した旨をメールにてご連絡いたします。 お申し込み後1週間以内に確認メールが届かない場合は、下記のお問い合わ せ先までご連絡ください。

9. 主 催: 弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会

10. お問い合わせ先: 弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ (担当:柏村)

電話: 0172-39-5518 FAX: 0172-39-5912 E-mail: hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

第1回日本オープンイノベーション大賞"内閣総理大臣賞"受賞記念

「ヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム2019(東京)」開催のお知らせ(再掲)

今回のサブタイトル▼

"ソーシャル・ヘルスイノベーションPJ最前線"

人生100年時代の健康未来を考える

一寿命革命:『健康BD』と『新健診モデル』で

QOL&GNHを最大化しSDGsに貢献する-

弘前COI拠点のめざす「健やかに老いる社会」の実現に向けて、国民の健康寿命延伸とQOL(生活の質)・GNH(幸福度)向上を通じたSDGs達成への貢献をめざし、世界最大級の超多項目(2000)健康ビッグデータを活用したAI等最先端研究成果等を紹介し、これらを活用した本格的社会実装による新たな健康産業創出に向けて、第一線の産学官民関係者が結集し、熱く議論します。



参画機関が勢ぞろいして, 研究や社会実装について発表します!

参加は無料ですが、事前のお申し込みが必要です。過去に開催したフォーラムは、いずれも早い 段階で定員に達し、当日は満席、立ち見いただくお客様もでる大盛況となりました。今回も混雑が 予想されますので、お早目のお申込みをお願い致します。

今回の基調講演

弘前大学大学院医学研究科特任教授で、弘前大学COIの研究リーダーである中路重之先生が講演します。

演題:「啓発型健診」で世界展開をめざす(仮)

今回の目玉企画1

明治安田生命保険相互会社 取締役会長 代表執行役・鈴木伸弥氏を ゲスト講師に迎えて行う特別講演です。

演題:生活者の行動変容と実現する新生保モデルの追求 (仮)

今回の目玉企画2

株式会社ミルテル 取締役会長/広島大学 副理事・田原栄俊氏を ゲスト講師に迎えて行う特別講演です。 演題:テロメアで未病を科学する(仮)

今回の目玉企画3

続いて,一昨年,昨年のフォーラムでも大好評を博した,著名な料理研究家 浜内千波先生に今回もご講演いただきます。

演題:健康意識が変わる伝え方とは(仮)

他にも盛りだくさんの内容でお送りいたします。ご期待ください。

弘前大学COIへルシーエイジング・イノベーションフォーラム2019

■日 程:10月4日(金)13:00~17:15(交流会17:30~19:00予定)

■会 場:一橋講堂 大ホール(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター)

■参加費:無料(※交流会に参加される方は、3,000円程度の会費を頂戴いたします)

■申 込:要事前申込 ※先着順:定員に達し次第,お申込を締め切らせていただきます。

添付チラシ2枚目(弘前大学ホームページ内イベント告知ページよりご参照ください。 https://www.hirosaki-u.ac.jp/43299.html) をご参照のうえ、以下① $^{-}$ 8をご記入いただきメールかFAXをお送りください。

- ①会社名 · 団体名
- ②TEL
- ③FAX
- 4E-mai1
- ⑤部署名
- ⑥役職名
- ⑦参加者氏名 (フリガナ)
- ⑧交流会(参加・不参加)3,000円程度を予定

送信先: 弘前大学COI研究推進機構 宛 メール: <u>coi_info@hirosaki-u.ac.jp</u>

FAX : 0172-39-5205

[プログラム]

※プログラムの内容、登壇者、題は変更になる可能性があります。ご了承ください。

■開会挨拶:

弘前大学長 佐藤敬 青森県知事 三村申吾 弘前市長 櫻田宏

■共催挨拶:

(国研) JST科学技術振興機構 理事長・濵口道成

■来賓挨拶:

文部科学省・代表

COI STREAM ビジョン1ビジョナリーリーダー (元協和発酵キリン社長)・松田譲氏

■基調講演:

弘前大学COI拠点長・研究統括(RL)/弘前大学大学院医学研究科特任教授・中路重之

■特別講演1:

明治安田生命保険相互会社 取締役会長 代表執行役·鈴木伸弥氏

■特別講演2:

株式会社ミルテル 取締役会長・田原栄俊氏

■特別講演3:

料理研究家 浜内千波氏

■特別企画1 ビッグデータ解析研究最前線:

京都大学大学院医学研究科 教授/弘前大学COI拠点ビッグデータ解析

タスクチームリーダー・奥野恭史氏

東京大学医科学研究所ヘルスインテリジェンスセンター 教授・井元清哉氏東京大学大学院医学系研究科 特任准教授・平川晃弘氏東京大学大学院情報学環 特任講師・上村鋼平氏東京大学大学院薬学系研究科 客員准教授・五十嵐中氏

■特別企画2 データ連携最前線:

九州大学大学院医学研究院 教授/九州大学サテライト拠点PL・二宮利治氏 京都府立医科大学大学院医学研究科 教授/京都府立医科大学サテライト拠点RL・的場聖明氏 和歌山県立医科大学保健看護学部 教授・上松右二氏 名桜大学大学院看護学研究科 教授・砂川昌範氏

■特別企画3 地域連携最前線:

青森県むつ市長・宮下宗一郎氏 北星交通 代表取締役・下山清司氏

■特別企画4 社会実装リレー(産):

花王株式会社

ライオン株式会社

サントリー食品インターナショナル株式会社

ハウス食品グループ本社株式会社

カゴメ株式会社

クラシエホールディングス株式会社

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

日本コープ共済生活協同組合連合会

株式会社ベネッセコーポレーション

マルマンコンピュータサービス株式会社 他

■パネルDC 「テーマ:人生100年時代の健康未来を考える」

MD: 日経BP社 医療メディア局アドバイザー・宮田満氏

AD: COI総括ビジョナリーリーダー代理/名古屋大学総長補佐・同大医学部附属病院

教授·水野正明氏

PL:中路拠点長・安川IL・企業代表者など

■閉会挨拶: 弘前大学副学長(COI担当)兼 医学研究科長・若林孝一

■交流会:ネットワーキングパーティー

■企画展示:岩木健康増進プロジェクト・弘前大学主要研究他:

ポスター展示・デモ(大学・関係企業等)

主催: 弘前大学・青森県・弘前市

共催: (国研) 科学技術振興機構 (JST)

後援: 文部科学省

「第19回青森糖質研究会」開催のお知らせ(再掲)

「青森糖質研究会」は、青森県の糖質科学研究の振興と教育の向上、 さらに産業の発展に寄与することを目的として平成9年に発足し、産学 官の研究者や技術者をはじめとする多くの人の交流・親睦を深める勉強 会を開催するなど、諸活動を続けております。

令和元年度は「天然素材の魅力に迫る探索・技術研究」をテーマに4 講演が行われます。

- 1. 日時: 令和元年10月11日(金) 13:30~(受付開始12:30~)
- 2. 会場: 弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大 8階 八甲田ホール (ホールA&B)

(〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地)

- 3. 対象:一般市民,弘前大学学生・大学院生・教職員,多数の参加をお待ちしております。
- 4. 講演:13:35~16:55
 - 1. 「美容と健康に役立つ青森県産機能性素材の探索と研究取り組み」 岩間 直子((地独)青森県産業技術センター 弘前工業研究所)
 - 2. 「結晶性多糖バイオマスの酵素分解を飛躍的に向上させるには? ~ブースタータンパク質、LPM010のはたらき~」 中川 裕子(一関工業高等専門学校)
 - 3. 「カシスが秘めるフィトエストロゲン効果」 七島 直樹(弘前大学大学院 保健学研究科)
 - 4. 「カシスを超える健康果実は存在するか?」 高田 良二(キリンホールディングス株式会社 ワイン技術研究所)
- 5. 参加費: 無料
- 6. 主催:青森糖質研究会(会長 加藤 陽治)



共催:ひろさき産学官連携フォーラム、日本応用糖質科学会東北支部

後援: (公財) 水谷糖質科学振興財団

7. 申込方法:下記問い合わせ先へお申し込みください。*当日参加も可

8. URL: http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~bioche1/aotouken/aotouken.htm

※研究会終了後(17:30~19:30), 弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大 8階 八甲田ホール (ホールC) にて交流会を行います。当日参加も受け付けております。

(会費 一般:3,000円, 学生:1,000円)

問い合わせ先: 青森糖質研究会事務局

弘前大学大学院医学研究科 附属高度先進医学研究センター

糖鎖工学講座內 担当:柿崎 育子

電話 : 0172-39-5542

E-mail : kaki@hirosaki-u.ac.jp

第21回家庭でできる看護ケア教室開催のお知らせ(再掲)

弘前大学医学部附属病院看護部主催で,市民の方を対象に,第21回 家庭でできる看護ケア教室を開催します。

毎年テーマを替えて開催しており、今回のテーマは、「糖尿病と認知症にいいこと始めるなら今からでしょ!」です。笑顔でポジティブに健康寿命を延ばす生活習慣のちょっとしたコツを学びます。

たくさんのご参加をお待ちいたしております。

1. 日 時: 令和元年10月16日(水)13:30~16:00

2. 場 所 : 弘前大学医学部附属病院 看護部研修室

3. 募集人員 : 市民の方30名(先着順)

4. 参加費: 無料

5. 申込期間 : 令和元年9月2日(月)~10月4日(金) 平日 8:30~17:00

6. 申 込 先 : 弘前大学医学部附属病院 総合患者支援センター

TEL 0172-39-5337 担当:工藤 順子

2019年度 第2回油化学セミナー 短命県返上に向けた油との正しい付き合い方(再掲)

食品に含まれる油は美味しさを引き出すとともに、身体の動かすための重要なエネルギー源です。一方で油を摂取しすぎることは肥満に関係した様々な疾患の原因となります。また青森県は短命県であり、肥満に関与した疾患の割合が高いことも問題となっています。そこで、健康な生活の秘訣となる油との正しい付き合い方をテーマに、食品や生活習慣を考えるセミナーを企画しました。また、健康な生活を送るためのヒントとなる情報や研究成果について講演して頂きます。多数のご参加お待ちしております。

日 時: 2019年10月19日(土) 13:30~17:00 (受付開始 13:00)

会 場: 弘前大学文京町キャンパス 弘前大学創立50周年記念会館

2階 岩木ホール





(青森県弘前市文京町1番地)

主 催: (公社) 日本油化学会関東支部

共 催: (一財)油脂工業会館

協 賛: 弘前大学C0I研究推進機構, (公社)日本食品科学工学会 東北支部,

ひろさき産学官連携フォーラム 青い森の食材研究会

詳細掲載HP : (公社) 日本油化学会 関東支部HP

 $\frac{\text{https://jocs.jp/oil-multi/kantosibu/\%E4\%B8\%BB\%E5\%82\%AC\%E3\%82\%BB\%E3\%83\%9F\%E3\%83\%8A\%E3\%83\%BB\%E5\%82\%AC\%E3\%82\%BB\%E3\%83\%9F\%E3\%83\%8A\%E3\%83\%BB\%E5\%82\%AC\%E3\%82\%BB\%E3\%83\%9F\%E3\%83\%8A\%E3\%83\%BB\%E5\%82\%AC\%E3\%82\%BB\%E3\%83\%9F\%E3\%83\%8A\%E3\%83\%BB\%E5\%82\%AC\%E3\%82\%BB\%E3\%83\%9F\%E3\%83\%8A\%E3\%83\%BB\%E5\%82\%AC\%E3\%82\%BB\%E3\%83\%9F\%E3\%83\%8A\%E3\%83\%BB\%E5\%82\%AC\%E3\%82\%BB\%E3\%83\%9F\%E3\%83\%8A\%E3\%83\%BB\%E5\%82\%AC\%E3\%82\%BB\%E3\%83\%9F\%E3\%83\%8A\%E3\%83\%BB\%E5\%82\%AC\%E3\%82\%BB\%E3\%83\%9F\%E3\%83\%BB\%E5\%84\%BB\%E5\%84\%BB\%E5\%84\%BB\%E5\%BB\%Ba...

プログラム:

• 特別講演

「超多項目健康ビッグデータで「寿命革命」を実現する」

弘前大学COI推進機構 教授 村下公一 氏

弘前大学C0I拠点は、巨大な産学官民連携チームで「寿命革命」をコンセプトに健康長寿社会実現をめざす。最大の強みは15年間に及ぶ健常人の超多項目(2000)健康ビッグデータの存在。地域・職域・学校をターゲットに、Society5.0時代における、市民をも巻き込んだ新ヘルスケア地域社会モデルを追求する最前線での取組を紹介する。

1. 「内臓脂肪を貯めない食事とオメガ3」

花王㈱ ヘルスケア食品研究所 片嶋 充弘 氏

内臓脂肪肥満とそれに伴う生活習慣病の増大が問題となっています。花王は、簡便に内臓脂肪を測定可能な機器を開発し、それを活用した研究を行っております。オメガ3など内臓脂肪を貯めない食事、食習慣についての研究成果を報告します。

2. 「緑黄色野菜の健康効果と油を活用した賢い摂取方法」

カゴメ(株) イノベーション本部 自然健康研究部 菅沼 大行 氏

緑黄色野菜に特徴的な成分であるカロテノイドは、活性酸素種の一種である一重項酸素消去能が高い。弘前大学COIでの取組み内容も含め、その健康効果と効率的な摂取法について概説する。

3. 「スパイスと健康 ~スパイスとの正しい付き合い方~」

ハウス食品㈱ 研究開発本部 イノベーション企画部 上野 正一 氏

ご家庭で使われているスパイスには知られざる健康効果がたくさん報告されています。しかし、その使い方がわからないことも多いと思います。スパイスの様々な健康効果をお伝えしながら、その上手な使い方をお話しいたします。

参加費: 無料

申込方法: 氏名と連絡先を明記の上,10月12日(土)までにE-mailまたはFaxでお申し込みください。

当日の申し込み無しでのご参加も可能です。

申込先,お問い合わせ先:

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地弘前大学 農学生命科学部 前多 隼人

E-mail: hayatosp@hirosaki-u.ac.jp TEL/FAX: 0172-39-3790

令和元年度 弘前大学大学院保健学研究科

市民公開講座「足の科学からみたスポーツ障害の予防」開催のお知らせ(再掲)

足は万病のもとといいます。スポーツでけがをしては、せっかく鍛えた成果を充分出せずに終わってしまいます。特に足はどのようなスポーツでも基本になるものです。そこで、昨年に引き続いて、足の機能や形態について科学的見地からスポーツ時の障害予防について講師がわかりやすく説

【日 時】令和元年年10月26日(土)10:00~11:30

【場 所】弘前大学50周年記念会館 岩木ホールAB (弘前市文京町1)

【対 象】一般市民, スポーツ指導者, 運動部員, 保護者等

【参加費】無料(事前申し込み不要)

【内 容】

講演「足の科学からみたスポーツ障害の予防」

講師: 弘前大学大学院保健学研究科 教授 尾田 敦氏

足の健康相談コーナー

【主 催】弘前大学大学院保健学研究科

【お問い合わせ先】

弘前大学大学院保健学研究科総務グループ

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1

TEL: 0172-39-5905 E-mail: jm5905@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館第23回企画展について(再掲)

弘前大学資料館では第23回企画展として「弘前大学と昆虫学」を7月29 日より11月2日まで開催いたします。

弘前大学では、これまで旧農学部、旧理学部時代から昆虫学の教育・研究が盛んに行われ、多くの研究者、昆虫学関係者を輩出してきました。卒業生/修了生は各方面で活躍し、日本の昆虫学の発展に力強く貢献しています。

また、弘前大学/青森県は豊かな自然に囲まれ、多くの昆虫とそのさまざまな暮らしを身近に見ることができます。ここでは、一歩、昆虫学の世界に踏み込むだけで、さまざまなテーマの研究に取り組むことができるのです。

弘前大学と昆虫学の関わりを振り返り、また青森の豊かな自然とそこにすむ昆虫を知ることで、多くの方々に昆虫学に関心を持って頂きたいと思います。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第23回企画展 「弘前大学と昆虫学」

会 期:2019年7月29 日(月)~2019年11月2日(土) (日・祝・休日・8月13~15日は休館,10月27日は開館)

時 間:10:00~16:00 場 所:弘前大学資料館

本件間い合わせ先

• 弘前大学資料館 電話: 0172-39-3432 E-mail: jm3432@hirosaki-u.ac.jp





学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

郡 千寿子(弘前大学理事・副学長)・仁平政人(東北大学大学院文学研究科准教授) 編著「青森の文学世界 〈北の文脈〉を読み直す」 (四六判,424頁,本体3,000円+税)を出版しました。

~紹介文~

近代以降,青森県は多くの優れた文学者を輩出してきた。本書は,青森出身の著名な文学者の中でも,陸羯南,佐藤紅緑,秋田雨雀,葛西善蔵,高木恭造,石坂洋次郎,今官一,三浦哲郎という8名を取り上げて,その活動や作品についてアプローチを行った論集である。文学研究・日本語学・国語教育など多様な立場に基づく本書の各論考は,個々の文学者に対する見方を更新し,その魅力や可能性を,それぞれ新たな角度から示している。その意味で本書は,研究書として意義を持つだけ



でなく、青森や文学に関心を持つ全ての人を「青森の文学世界」に誘う一冊となるだろう。

巻末には、青森にかかわる文学者を幅広く紹介する「青森文学案内」を収録。

ご興味をお持ちの方は大学生協または最寄りの書店でお買い求め下さい。

トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム第13期応募への相談随時受付中です!

トビタテ!留学JAPAN第13期申請に向けて、申請書類作成の留学相談を随時受付中です。

詳しくはこちらをご覧ください。

http://www.kokusai.hirosaki-u.ac.jp/studyabroad01/tobitate/

学生特別支援室相談会開催のお知らせ

学生特別支援室は、障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ、よりよい 学生生活が送れるよう支援しています。

昨年に引き続き、障害等のある学生(疑いを含む)への支援について教職員と話し合う、または、相談し合うための機会として、2019年度後期は以下の日程で相談会を開催します。

障害等のある学生(疑いを含む)への支援に苦慮している,支援室スタッフに尋ねたいことがある,あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。

開催日: 2019年度後期

10月9日 (水), 11月13日 (水), 12月4日 (水), 1月8日 (木), 2月5日 (水), 3月11日(水)

時 間: 14:30 ~ 15:30 (時間内の出入りは自由です。)

会 場: 附属図書館3階 グループラーニングルーム

対 象: 本学の教職員

参加方法: 事前申込みは不要です。直接会場にお越しください。

参加スタッフ: 室長, コーディネーター, カウンセラー, 支援室員等

問い合わせ先: 教育推進機構学生特別支援室

内線:3266 E-mail:g-shien@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24(1949)年5月に新制大学として発足して以来,平成31(2019)年に創立70周年を迎えました。

創立70周年に際して、国際化や男女共同参画の推進、学生支援の充実など、主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

ついては、多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが、創立70周年記念事業を成功させるため、更なるご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

なお,創立70周年記念事業のホームページでは,クレジットカードによる寄附も可能でございますので,ご活用いただければ幸いと存じます。

【創立70周年記念事業ホームページ】https://www.hirosaki-u.ac.jp/70th.html

○70周年のロゴマークを使用したパソコンの壁紙を作成しました。 右記URLからご覧いただけます。 https://www.hirosaki-u.ac.jp/36723.html

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第52号」では、「発見!国立大学」において、内閣府「日本オープンイノベーション大賞」を受賞した弘前大学COIの取り組みが紹介されています。ぜひご覧ください。

最新号「国立大学第54号」

https://www.janu.jp/report/files/janu_vol54.pdf

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。 https://www.janu.jp/report/

その他, 第52号・第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において, 本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から:講演会,研究発表会,部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに,下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当:総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線:3029